

# #43 大人の「おうち時間」 夫婦で家飲み、 非日常を愉しむ。

外出自粛やリモートワークの実施など、「おうち時間」が増えたことで住まいでの過ごし方もずいぶん変わったのではないのでしょうか。最初は戸惑うこともあったけれど、今では新しいライフスタイルとして積極的に愉しんでいる人も多いようです。そのひとつが「家飲み」。

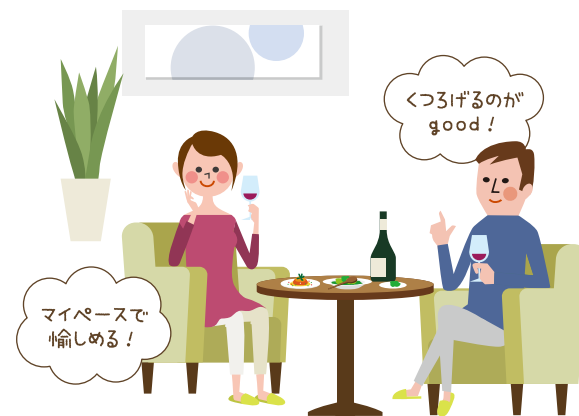
積水ハウス住生活研究所ではコロナ禍の前、2016年から「わが家でお酒を愉しむ暮らし」に着目し、さまざまな研究や提案を行ってきました。今回はそのノウハウをもとに、「家飲み」をもっと豊かにするヒントやアイデアをご紹介します。



## 家飲みの魅力、再発見！

実際に「おうち時間」の増加で、家飲みをする人は増えたのでしょうか。アンケート調査によると、新型コロナウイルスの感染拡大前とそれ以降では、家飲み派は約80%に増加し、以前より5ポイント程度アップ。家飲みの頻度も確実に増えているという結果が出ています。

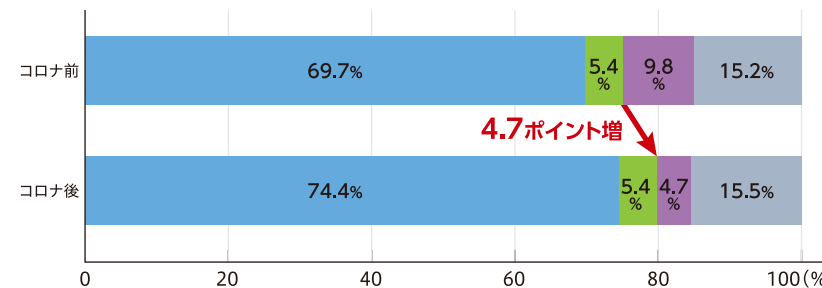
この変化は外飲みの機会が減ったことも大きく影響していると考えられますが、家飲みを実践してみると考えられますが、気がついた人も多く、今後ともわが家での過ごし方として定着していくと言えるでしょう。皆さんの中にも「リラックスして飲める」「外飲みより安くすむ」「のんびり飲める」「時間を気にしなくていい」といった、家飲みならではのメリットを再発見した人も少なくないのではないでしょうか。



### ■やはり増えている家飲み派

家飲みアンケート調査/  
積水ハウス住生活研究所(2020年)

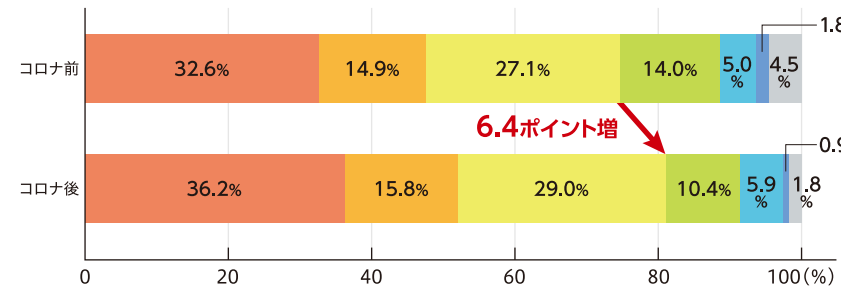
- 家飲みしている
- お酒は飲まないが家族が家飲みしている
- お酒は飲むが家飲みはしていない
- お酒は飲まないし家族も家飲みはしていない



### ■家飲み頻度も増加傾向

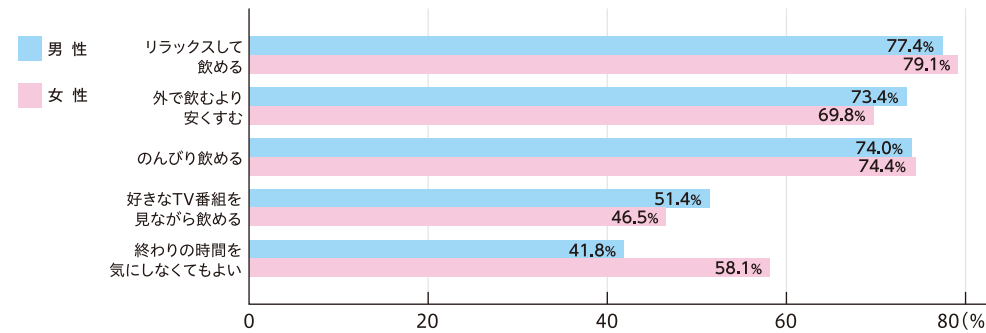
家飲みアンケート調査/  
積水ハウス住生活研究所(2020年)

- ほぼ毎日
- 週4~5日程度
- 週2~3日程度
- 週1日程度
- 月2~3日程度
- 月1日程度
- 月1日未満



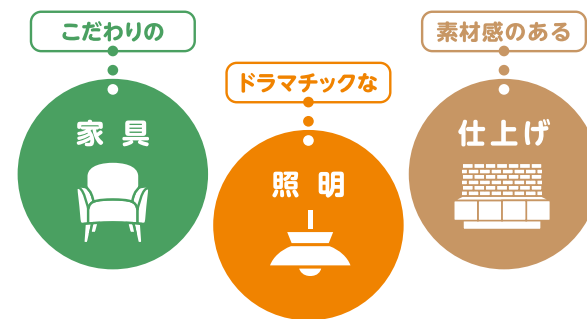
### ■家飲みならではの魅力

家飲みアンケート調査/  
積水ハウス住生活研究所(2020年)



## 非日常感の演出で、家飲みをランクアップ。

最初はくつろぎ感やのんびり感が心地よかったけど、家飲みを続けていると少しマンネリ気分にも陥りがち。そこでおすすめなのが、いつものわが家と違う雰囲気づくり、ちょっと非日常感を持たせるように空間を演出することです。



■非日常感を演出する3つのポイント

お手本になるのは、隠れ家風のバーやお洒落なレストランのイメージ。「インテリアの仕上げ」「照明の工夫」「居心地を高める家具」の3つのポイントから、特別感や高揚感を創り出せるようにアプローチするのが秘訣です。

家飲みをランクアップはもちろん、オンライン飲み会でも「今どこにいるの?」「家じゃないみたい!」なんて、ちょっと話題になるような空間づくりを目指してみませんか。





家飲み空間に大画面モニターを設けてホームシアター化。懐かしいシネマを観ながら至福の一献はいかが。



ボトルをライトアップし、趣味のレコードと一緒にディスプレイ。エタノール暖炉が格別の時間を演出します。

ものに囲まれるようにディスプレイ棚を設ければ、わが家が唯一無二のバー空間として完成。お酒も過ごす時間も格別の味わいとなります。

住まいの壁・天井はホワイト系のクロスが一般的ですが、非日常感を演出するなら素材感の強いもので仕上げるのがおすすめ。タイルや石、木などを活かせばイメージがガラッと変わって、いつもの印象と違ったスペースが生み出せます。特に凹凸のある素材は照明との相乗効果も抜群。陰影のある表情が強調でき、落ち着いたレストランやバーのような雰囲気。部分的に壁の仕上げを変えるアクセントウォールなら、リフォームでも実現しやすくなります。

**素材感のある仕上げで雰囲気づくり**



わが家ならではのリラックス感と非日常感を融合させた、積水ハウスが提案する家飲み空間「うちdeバル」



リビングのコーナーにラグを使ってエリア感を創出。半間仕切り壁に囲われたバーコーナーも設けています。



リビング奥を間仕切り、インテリアの違いでも独立性を強調。心地よい「こもり感」を演出しています。

**独立スペースorオープンスペース。**家でゆったりとお酒を愉しむなら、日頃の忙しさ・慌ただしさをシャットアウトできるのが理想。空間の独立性を高めて、あえてこぢんまりとまとめた「こもり感」のあるスペースを計画するのがベストです。たとえばリビングの一角を間仕切り、子どもが巣立った後の部屋を活用してはいかがでしょうか。在宅ワークスペースや趣味スペースと兼用し、昼夜で使い分けるのもおすすめです。



タイル壁とスポットライトでシックなカフェの雰囲気を演出。



壁を素材感のある仕上げにするだけで雰囲気は一変。上質なレストランバーの趣になります。



**照明の工夫でドラマチックに**

家飲み気分を高めるのに欠かせないのが照明の演出。部屋全体を照らす照明を落とし、間接光中心にまとめるのが雰囲気づくりのポイントです。

よりドラマチックに魅せるならスポットライトや狭角のダウンライト、光源を隠したウォールウォッシュやアッパーライトが有効。壁やテーブル、ボトルやグラス



照明で雰囲気を高めるなら、空間の中に思い切つてシャドウエリアを設けるのが秘訣です。



**家具にこだわって居心地アップ**

座りごこちのよい椅子に、程よい大きさのサイドテーブル。ボトルやグラス、趣味のものなどを並べたディスプレイ棚。家飲みを充実させるには、空間を彩る家具類も重要な要素です。椅子は夫婦それぞれがお気に入りのパーソナルチェアを持ち寄って少し視線をずらすように斜めに、テーブルは座ったままで手が届きやすいように配置するのが居ごこちアップの秘訣です。さらに自分の好きなもの、こだわりの



個性的なデザインのスタンドを使っても非日常感のある雰囲気が演出できます。



いつものダイニングテーブルを窓際に移動。ちょっとした工夫でも雰囲気は変えられます。

また、LDKなどの広々オープンスペース内に家具配置などを工夫して、エリア感を持たせるのも一案。意外と気軽にいつもと違った雰囲気が創り出せます。

**夫婦の時間をまったり愉しむ。**

様々な家飲み空間のアイデアをご紹介しましたが、実は積水ハウスが最も大切に考えたのが「夫婦の時間を愉しむ暮らし」です。「おうち時間」が増えたことをきっかけに家族や夫婦での過ごし方を見つめ直した人も多いことでしょう。家飲み空間は、そんなこれからの暮らし方、幸せの在り方をサ



あのレストランの味を再現してみたご賞味あれ

最近ますます喉を上げてるあれ!